

2022 年度実施概要

学校名

気仙沼市立九条小学校

採択活動名

気仙沼の海の恵みを探り，気仙沼の未来を考えよう

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 九条の環境を見つめよう	4年	総合
2. 気仙沼の海と環境を探ろう	5年	総合
3. 気仙沼の未来を考えよう	6年	総合

取り組みの概要

(1) 4 学年の取り組み

4年生で山と川の繋がりを中心に「地域の環境」に目を向けた学習を展開した。神山川上流（徳仙丈・羽田神社）の散策や、学校周辺の山の地形調べ、生物調査（神山川上流域，下流域）を行った。生物調査には，宮城教育大学との連携をはかることで，よりくわしい調査をし，さらに飼育方法を学んだ。

森とのつながりを考える学習では，NPO 法人「森は海の恋人」の畠山さんをお招きし，食物連鎖などについての講話を聞いた。ここで，森川里海のつながりについて考えた。

生物調査で捕獲した生き物の飼育観察（観察記録の累積，水族館ニュース等の作成）を行い，気付いたことや分かったことを伝えることができるようにした。この活動を通して川の生き物の多様性，自然の豊かさを実感するとともに森と川，海とのつながりについて理解を深めた。さらにこれまでの学習を振り返り，発表会を行った。発表会は保護者，これまでお世話になった外部機関等の関係者の方々を対象に行った。



(4年神山川生物調査)



(4年発表会)

(2) 5 年生の取り組み

5年生は地域の水産業から「海の環境」に着目し，岩井崎へ出かけ，生き物や海の環境の現状を調べた。また，南三陸町自然環境活用センターの研究者，阿部拓三氏から気仙沼の海の環境についての講話を聞き，気仙沼の海の特徴への理解を深めた。

気仙沼の水産業について探るために，気仙沼魚市場見学，遠洋マグロ漁船見学を行った。気仙沼の水産業と海の環境を結びつけて考え，「環境を守るための夢アイデア」と称して，環境を守る



(5年魚市場見学)

工夫を提案する発表へとつなげた。

海の生き物や環境に大きな影響を与えていると思われる「捨てられるゴミ」「消費者」「生産者・製造者・提供者」それぞれの立場からプロジェクトとして、自分たちにできることを考え、実際に行動した。

これまで調べてきた結果や、プロジェクトの内容、実際に行動したことの結果等を基に、発表会を行った。発表会はお世話になった方々や保護者に向けて行い、次年度への活動へとつながるようにした。

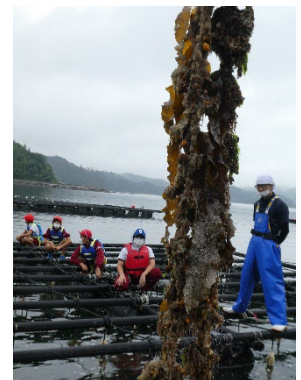


(5年ゴミ拾いの様子)

(3) 6年生の取り組み

6年生では「環境面」と地域の産業に目を向け、これからもずっと残していきたい「地域の未来」を考えるために、探究活動を行ってきた。昨年度の取組に新しい視点を加え、地域の現状から、地域の産業や環境のよさを未来へ残すために、自分たちにできることや守っていききたいという思いをもち探究活動に取り組んだ。

昔から続く企業や産業（小野徳商店、男山本店・本社、岡本製氷、ヤマヨ水産、気仙沼定住移住支援センター）の協力により、見学や講話を通して、地域の良さや環境問題、東日本大震災からの復興など、様々な視点から考えた。そこで、他地域からの支援や支えてくれている人々がいること、自分たちの生活との関わり、他地域から見た地域内の様子から地域に対する新しい視点にも気付かせるとともに、海の環境を守ることが、自分たちの生活そのものに関わり大切にしなければならないこと、それが自分たちの未来へと繋がっていくことなどの理解を深めた。



(6年カキ養殖場見学)

「未来に残したいもの」として、これまで調べてきたことを基に発表会を行った。自然環境、水産業、特産品、観光業など幅広い分野で、未来を作るのは自分たちが、今考えられることについて発表した。



(6年発表会)